

広報
の

まつざき

2007
(平成19年)

10

No.521



練習のしめはベースランニング (松崎野球スポーツ少年団)

平成18年度 一般会計

決算報告

総額33億7,526万円
このように使いました。

財政の持続性を持たせるため、引き続き、経費削減等の行財政合理化を推進し、健全な財政運営に努めました。

●目的別の金額と主な事業

総務費 6億7,457万円

- ・太鼓フェスティバル補助129万円
- ・路線バス対策事業2,393万円
- ・財政調整基金積立金1億5,630万円
- ・花いっぱい運動推進事業1,590万円
- ・コミュニティ活動推進事業223万円

民生費 4億8,598万円

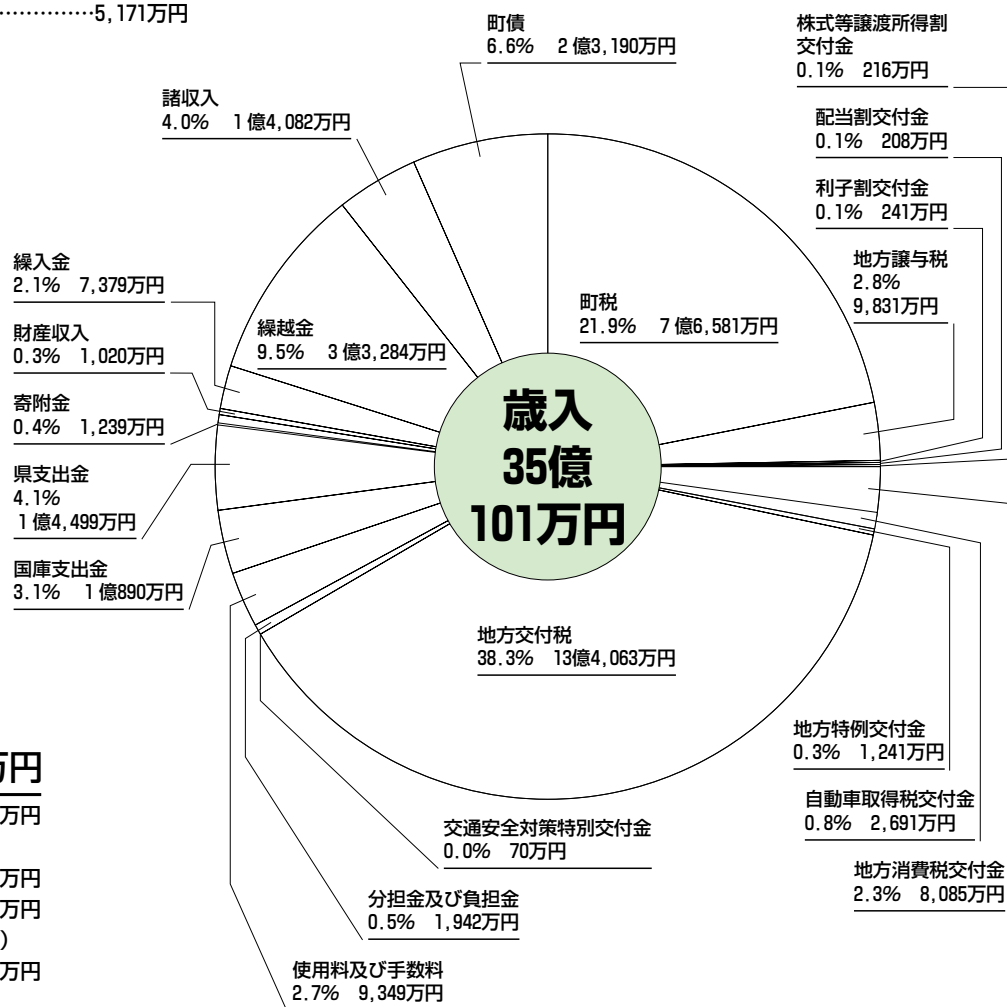
- ・重度心身障害者医療費助成事業1,713万円
- ・心身障害者施設支援・居宅支援事業2,787万円
- ・敬老の日行事委託338万円
- ・福祉タクシー・寿乗車券交付事業225万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金4,793万円
- ・介護保険特別会計繰出金9,188万円
- ・保育所実施委託事業5,171万円

衛生費 5億6,061万円

- ・乳幼児医療費助成事業592万円
- ・合併処理浄化槽設置補助1,392万円
- ・西豆衛生プラント組合負担金1億1,728万円
- ・老人健康対策事業1億704万円
- ・旧最終処分場整備工事3,442万円
- ・クリーンピア松崎ろ過式集塵機ろ布交換工事1,943万円

農林水産業費 2億1,845万円

- ・中山間地域等直接支払事業184万円
- ・松くい虫薬剤地上散布・予防財注入事業364万円
- ・林道白川富貴野線改良工事182万円
- ・雲見漁業集落環境整備事業（防災安全対策）8,708万円



◎歳入の状況

歳入決算額は、三十五億一千万円(前年比12・3%の減)で、収入率は予算現額に対しては97・6%、調定額に対しては97・2%、未収額は九千四百八十四万円となりました。

前年比増となった主なものは、地方譲与税、財産収入、寄附金で、逆に国庫支出金、繰入金、町債、地方交付税等が前年比減となりました。

また町税等の自主財源比率は41・4%で、前年比8・8%の減となりました。これは町税の減少や基金からの繰入金を必要最小限に努めたことにより減少したものです。

◎歳出の状況

歳出決算額は、三十三億七千五百二十六万円(前年比7・7%の減)で、執行率は94・1%、不用額は二億一千三百四十二万円となりました。

災害復旧費 3,740万円

- ・農業用施設災害復旧事業 ……1,188万円
- ・雲見漁港沖防波堤災害復旧事業 ……2,302万円

災害復旧費 1.1%

公債費 4億5,775万円

- ・元金 ……3億8,789円
- ・利子 ……6,986万円

議会費 4,975万円

- ・議員報酬・手当 ……2,965万円

議会費 1.5%

教育費 3億3,722万円

- ・松崎中学校耐震補強計画策定・設計業務 ……1,344万円
- ・松崎小学校校舎・門扉改修事業 ……631万円
- ・英語指導助手業務委託 ……546万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助 ……307万円
- ・小中学校児童生徒派遣事業補助 ……173万円
- ・海洋センター運営事業 ……2,044万円

教育費 10.0%

消防費 1億8,539万円

- ・西伊豆広域消防組合負担金 ……1億4,359万円
- ・消防団運営費 ……3,107万円
- ・災害対策費 ……306万円

消防費 5.5%

土木費 1億4,907万円

- ・急傾斜地崩壊対策事業負担金 ……650万円
- ・町道山口松尾線拡幅事業 ……1,066万円
- ・松崎港湾整備事業負担金 ……5,890万円

土木費 4.4%

商工費 6.5%

農林
水産業費
6.5%

衛生費 16.6%

民生費 14.4%

総務費 19.9%

公債費 13.6%

歳出
33億
7,526万円

平成18年度 一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	8億4,870万円	25.1%
物件費	5億9,340万円	17.6%
維持補修費	1,764万円	0.5%
扶助費	2億560万円	6.1%
補助費等	5億276万円	14.9%
公債費	4億5,775万円	13.6%
積立金	1億5,656万円	4.6%
投資及び出資金貸付金	1,107万円	0.3%
繰出金	2億3,509万円	7.0%
普通建設事業費	3億929万円	9.2%
災害復旧費	3,740万円	1.1%
合計	33億7,526万円	100.0%

商工費 2億1,907万円

- ・伊豆文部周辺整備工事 ……1,146万円
- ・長者ヶ原遊歩道整備工事 ……1,002万円
- ・鏝絵の町づくり推進事業 ……237万円
- ・大沢プール解体工事 ……1,016万円

財政の持続性を持たせるため、引き続き行財政合理化に努めてまいりましたが、工事費である普通建設事業費や町有施設の維持修繕費、出資金の増加により前年比増となりました。

性質別に見ますと、物件費は、行革推進による経費節減に努めた結果、前年比7.4%の減となり、積立金は、財政調整基金に一億五千六百三十万円を積立てました。

また社会資本の整備に要する投資的経費は、旧最終処分場整備工事や環境改善センター空調設備改修工事等の増により前年比47.1%の増となりましたが、災害復旧事業費は、災害事業の減により83.5%の減となりました。

繰出金は、雲見集落排水事業特別会計繰出分の減少により、前年比32.7%の減、公債費は、元金返済が進んだことにより前年比1.4%の減となりました。

この結果、歳入歳出の差し引き一億二千五百七十五万円が翌年度へ繰り越されます。

〔問合せ〕

総務課(42)3963

第30回 花壇コンクール

第15回 街角の花コンクール

8月30日(木)に審査が行われ、『花壇』は岩地天寿会が2年連続、『街角の花』は山本さんが4年連続で最優秀賞に輝きました。



花

壇コンクールは、花いっぱい運動に対する団体の活動について評価する機会を設け、技術の向上を図ろうと昭和五十四年四月に第一回が行われ、今年が節目の三十回目を迎えました。

審査は、県伊豆農業研究センターの研究者ら七人があたり、参加した二十団体の花壇を一日かけて回りました。

表彰は十一月三十日の老人福祉大会で行われるほか、上位の団体は、賀茂地域花壇コンクールに推薦されます。

【最優秀賞】 岩地天寿会

【優秀賞】 東区東友会

【努力賞】 中村老人会

【特別賞】

- 松尾ひまわり会
- 船田寿会
- 伏倉常盤会
- 石部楽寿会
- 明伏明朗会
- 池代活性会



優秀賞 東区東友会



最優秀賞 岩地天寿会

街

角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇やプラ

ンターなどについても評価する機会を設け、花いっぱい運動の更なる推進を図ろうと平成三年から行われているもので、今年も五人の参加がありました。

審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫していることなどについて見ました。

参加された皆さんは、限られたスペースを有効に活用しており、街角に潤いを与えていました。



優秀賞 桜田睦会



優秀賞 山本源吾さん (大沢)



最優秀賞 山本善雄さん (指川)

- 【最優秀賞】 山本善雄さん (指川)
- 【優秀賞】 山本源吾さん (大沢)
- 【努力賞】 黒田福市さん (東区)
- 平野清子さん (桜田)
- 石田宏さん (北区)

交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が九月七日(金)、環境センター文化ホールで行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、四百六十二点の応募があり、町長、警察署長、各学校の美術担当教諭らが審査にあたりました。

各部門の入賞者は次のとおりです。



小学校低学年(一・二年)の部

- 最優秀 野木沼瑶美 中小一年
- 優秀 鈴木里菜 中小二年
- 高橋黎奈 中小二年
- 佳作 石垣優里花 中小二年
- 大石浩之進 中小二年
- 石田 蘭松 中小二年

小学校中学年(三・四年)の部

- 最優秀 馬場裕太郎 中小三年
- 優秀 後藤ほのか 中小四年
- 関 翔太 中小四年
- 佳作 高木大成 中小四年
- 松田啓希 中小四年
- 高橋育海 中小四年

小学校高学年(五・六年)の部

- 最優秀 鈴木唯加 中小五年
- 優秀 水口斗夢 中小五年
- 石田京太郎 中小五年
- 稲葉詩乃 中小五年
- 稲木亜美 中小五年
- 森 美月 中小五年

中学生の部

- 最優秀 松本有希 一年
- 優秀 藤井 絢 一年
- 土屋萌子 一年
- 佳作 高橋海月 一年
- 福本昂太 一年
- 中嶋明日香 一年

(敬称略)

小学校低学年の部



最優秀
中川小1年
野木沼瑶美さん



【評】横断歩道を渡っている子供の表情が豊かに描かれている。

小学校中学年の部



最優秀
中川小3年
馬場裕太郎くん



【評】全体のバランスがよく人物の表情も良く描かれている。

小学校高学年の部



最優秀
中川小5年
鈴木唯加さん



【評】画面構成が優れており主張がはっきりと伝わる作品である。

中学生の部



最優秀
松崎中1年
松本有希さん



【評】金剛力士像、人の表情など表現が豊かである。

交通安全を誓う大会

交通安全協会松崎支部主催の交通安全を誓う大会が九月二十一日(金)、外部の交通安全誓いの塔前の広場で行われました。

この大会は、毎年秋の交通安全運動に合わせ開かれているもので、西豆二町の関係者約五十人が出席しました。

会場では、交通事故死亡者への献花や交通安全誓いの宣誓などが行われ、交通安全への認識を新たにしました。

また、関東管区警察局長と関東交通安全協会連合会長の連名表彰を受賞した交通安全協会松崎支部に対し、表彰の伝達が行われました。



いつまでも お元気で 敬老の日



伊豆まつざき荘で（江奈地区）



峰公民館で（峰区）



会場へは人力車で（江奈地区）

今年度、満七十五歳以上になられる方を対象に九月十三日から十七日にかけて町内二十八会場で敬老会が行われました。

会場では、子供会などの趣向を凝らした催しが行われ、参加した皆さんは楽しいひとときを過ごしました。

今年の対象者は千五百九十九人で、そのうち、喜寿（七十七歳）該当者は百三十八人、米寿（八十八歳）が四十八人、白寿（九十九歳）が五人でした。

税の滞納は強制徴収します
静岡地方税滞納整理機構

静岡県と県内全市町が参加し、平成二十年四月から広域連合「静岡地方税滞納整理機構」が設立されます。

滞納整理機構では、市町から移管された滞納案件に対し、弁護士・国税OB・警察OB等の顧問を活用した徹底した財産調査と厳格な滞納処分を行います。

具体的には、売掛金債権調査、タイヤロック、捜索による動産差押え、インターネット公売等で、財産の差押えと公売を実施し、滞納されている税金を強制的に徴収する業務を行います。

財産とは、土地・建物・車・宝石・預金・給与・生命保険・売掛金などです。

松崎町には、平成十八年度末で約一億四千万円の滞納があります。今後、税収の確保と税負担の公平性を保つために厳しい姿勢で対処していきます。

【問合せ】

窓口税務課（42）3968

百歳のお祝い

大房六めさん（江奈2）

明治40年9月18日生

9月18日、深澤町長が松崎十字の園を訪問し、記念品を贈呈しました。



松崎文芸

— 短歌 —

セピア色に変はりし夫の写真なり

さみしくありしが心安らぐ

笹本藤子

土の面が乾けば水をやりゐるに

育たぬあした葉の拗ねるがごとし

中村宣子

山道に咲くひなげしに背を押さる

一輪なるもしかと生くるを

平馬文枝

目にあまる家事はあれども陽のさせば

急ぎ出でゆく地下足袋履きて

橋浪子

高齢の運転なれど信じつつ

ひすがらの通院つづくを望む

山本しづ子

とげのある葉や茎に花はまもられて

あざみは野辺にひっそりと咲く

飯野ふさ

空想は日毎にふくらむ老い吾の

北ベトナム行きの異文化の体験

坂倉のぶ

まちのどきどき

総合防災訓練

九月一日(土)、東海地震を想定した総合防災訓練が町内各会場で行われました。

今年で二十九回目となる防

災訓練は、各自主防ごとに行われ、約三千六百人が参加しました。

自衛隊員が参加した江奈二区の訓練では、人形を使った救命講習や自衛隊車両によるけが人の搬送訓練が行われました。



第8回 伊豆半島太鼓フェスティバル

九月八日(土)、第八回伊豆半島太鼓フェスティバルが松崎海岸の特設ステージで行われました。

今年、伊豆松崎牛原太鼓をはじめ、伊豆地域を中心に活動している五団体が出演しました。

好天にも恵まれ、暮れなずむ海をバックに照明やかがり火で映し出された演奏を多くの観客が楽しみました。



第24回 長八まつり

左官の名工入江長八をしのぶ第二十四回長八まつりが九月二十三日(日)、伊豆の長八美術館周辺で行われました。

会場では、鏝絵の制作体験や地場産品の直売など多彩な催しが繰り広げられました。

また、今年、全国左官技能競技大会が三年ぶりに松崎町で開催され、全国十プロックから選抜された優秀技能士が日本一を目指しました。



河原を共同で花いっぱい

今、那賀川、岩料川は土砂が堆積し、そこには葦が生い茂っている。緑が大変美しいので悪くはないが、晩秋から冬には枯れて決してきれいとはいえない。

春は、宮の前橋付近の土手に菜の花、ひなげしがところどころに咲くのを楽しく見ているが、今春は特に、梅月園側の土手一面に菜の花が咲き乱れ、素晴らしい眺めであった。

中川小学校前は河原が荒れて川のためにもあまりよろしくない。ここから下流にかけての葦原を絶やして、河原を自然風に春は菜の花、秋はコスモス、川の流れに沿って咲き乱れる風景は、いかがだろう。

県土木が推進しているアダプトロードとは若干、意味合いが違ふとは思いますが、沿道がきれいに楽し

くなるものと思う。こんなことを町と町民の皆様と共同して作れば面白いと思う。この話、実現するように奮闘してくださいとお願いする次第です。

松崎町長
深澤 進

町長室からこんにちは ⑦〇



